

# 鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。  
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

## 今月の俳句

日脚伸ぶホの口をして土人形

神奈川県中郡大磯町 前田 恵美

季題は「日脚伸ぶ」。冬もいよいよ終わり、「春」が迫っていることを感じる言葉である。夕方、特にその思いを強くする。そんな作者の前に、「口を「ホ」の形に開けた「土人形」があった。人形もまた「春」を待っている。



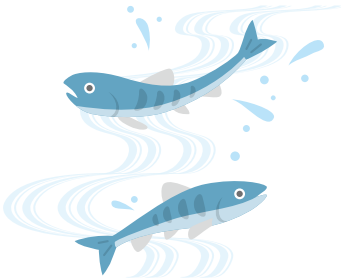
(鳴立庵庵主 本井 英)

## 今月の俳句

杭のみの瀬しづきとなる崩れ築

千葉県千葉市 松田 素風

季題は「崩れ築」。河に仕掛けて魚を捕らえる「築」。その築も秋になると大分傷んでくる。そしてとうとう「杭」ばかりが残っているのである。その「杭」に瀬の波が騒いでいる。



(鳴立庵庵主 本井 英)

## 今月の短歌

グータッチに言葉はいらない  
マスクする君と我との擦れ違う朝

神奈川県小田原市 川口 克子

コロナウイルスが猖獗を極めた時には、みんなが沈黙を強いられました。ご飯は黙って「黙食」。職場でもマスクをして距離をとり、透明な板を机の間に挟んで座りました。会話はめっきり減りました。でも、そんな時であっても、仲の良い二人は困りません。職場あるいはキャンパスかもしれないが、道や廊下ですれ違う時、目と目を合わせ、グータッチをすれば、お互いを思いやる気持ちは通じ合います。言葉を交わさず、すれ違ってしまふ二人なのに気持ちを通じるといふのは、それだけ愛情が深いという他ありません。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 申込み 締切り 問合せ 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
座禅	7月15日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏 (慶林寺住職) 定10人 費500円 (入庵料込)
風鈴祭	7月22日(土)~ 8月27日(日)	9:00~16:00 終日	西行祭の献詠入選句と2022年度投句を展示します。小田原風鈴の音色とともに楽しみください。 費入庵料
伝筆	7月23日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円 (材料費込)
茶と遊ぶ	8月5日(土)	10:00~正午	冷茶を淹れる・楽しむ・味わう 講 高野 幸代氏 定6人 費3,000円 (お茶菓子付、入庵料込)

## ●「めいどいんおおいそに登録しよう」

「食べたい」「買いたい」「見たい」「触りたい」「行きたい」となるような、大磯らしい魅力が詰まった産品を『ご当地太鼓判』として発信することで、満足と感動を提供し、地域経済の活性化に寄与する制度です。ぜひ登録をお待ちしています。

問 大磯町商工会 ☎(61)0871

ご当地登録産品

